イベントレポート第７号

平成２９年７月６日
青 森 森 林 管 理 署

下湯ダム「森と湖に親しむつどい」を開催しました

平成２９年７月６日（水）に青森市、東青地域県民局地域整備部、青森森林管理署の共催により「森と湖に親しむつどい」を青森市下湯ダムで開催しました。

このイベントは、国民の皆様に森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、農林水産省と国土交通省が毎年 7 月 21 日から 7 月 31 日までを「森と湖に親しむ旬間」として定め、その活動の一環として、平成３年度から青森市内の小学校を対象に毎年実施しているものです。

青森森林管理署長による挨拶

下湯ダムの役割やはたらきの説明

大きなダムに大興奮

ダムの中で水力発電の説明

今回のイベントでは、青森市立千刈小学校３・４年生の約１００名の生徒が参加。参加した小学生は、まず下湯ダムの役割やはたらきを学び、ダムの洪水吐（こうずいばき）やダムの中にある発電施設などを見学しました。大きなダムや滝のように流れる洪水吐に大興奮しながらも、ダムの説明にはしっかりと耳を傾け、熱心に見学をしていました。

その後、クラス毎に記念植樹をし、当署からは森林教室と丸太伐り体験を実施しました。森林教室では、「森林からのおくりもの」と題した紙芝居を使い、クイズを交えて、森林の大切さや関わり方などを説明しました。クイズでは「蛇口から水が出なくなったらどうする？」という問いに対し、「ジュースを飲む！」と想定外の回答もあり、当署の職員が困惑する場面もありましたが、沢山の手が挙がり、とても盛り上がりました。また、丸太伐り体験にも小学生は一生懸命取り組み、自分で伐った丸太の輪切りを手にし、「森林からのおくりもの」に大喜びでした。

植樹の様子

森林教室の様子

熱心に参加する小学生

丸太伐りのレクチャー

そのほか、鯉の放流体験や防災ヘリコプター救助訓練など盛り沢山の内容で充実したイベントとなりました。

参加した小学生からは、「これからも森林を大切にしようと思った」「もっと丸太伐りをしたい」「楽しかった」などの感想を聞くことができました。

青森森林管理署では、国民の皆様に森林の役割等の理解を深めていくためにこうした取り組みを進めてまいります。

一生懸命丸太伐り

上手に伐れました！

救助隊員による説明

ヘリコプター救助訓練

鯉の放流体験

小学生からお礼の言葉